

所変われば

言語によって犬の鳴き声も異なる様に、
所変われば同じモノも同じものではありません。
今回は「庶民の足」である乗合バスをご紹介します。

バングラデシュのバス



いつ、どの国で作られたのかも分からないバスが多い。車上の乗客も珍しいことはありません。

ミャンマーで活躍する日本の市バス



右側通行のミャンマーでは、右ハンドル・左側乗降口の日本の中古バスがそのまま走っており、乗客にとって不便かつ危険な乗降となっています。

フィリピンのジープ改造バス



大変おしゃれな外観ですが、スリヤひったくりが多く外国人にはお勧めできません。